

2011年度  
(2011年4月～2012年3月)  
**特別勘定の現況**

決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。  
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

【利用する投資信託の委託会社】

**アライアンス・バーンスタイン株式会社**

  
ALLIANCEBERNSTEIN

アライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするアライアンス・バーンスタイン\*の日本拠点です。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。業界最大級のグローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、グローブ株式、パリュウ株式、債券、ブレンド戦略など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

\*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「年金払定期付積立型変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
  - ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「年金払定期付積立型変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
  - ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
  - ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
  - ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)(\*)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
  - ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。
- \* 金融商品取引法の2007年9月30日完全施行により配布を開始しております。

# 年金払定期付積立型変額保険

## 特別勘定の現況

(2011年4月～2012年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

### 運用環境 [ 2011年4月～2012年3月 ]

#### 【日本株式市場】

日本株式市場は、下落しました。TOPIX(東証株価指数)は前期末比 1.73%下落の854.35ポイント(前期末は869.38ポイント)で終了しました。4月は、原発事故収束見通しの不透明感から下落基調が続き、米国景気の減速懸念やギリシャの財政懸念などから6月中旬頃まで軟調な推移となりました。その後ギリシャの財政懸念の後退などにより上昇しましたが、8月に入ると米ドル/円為替で一時、75円台をつけるなど円高が続き、下落しました。11月にはイタリアの長期国債利回りが一時7%を上回るなど信用不安が拡大し、大幅に下落しました。1月から3月にかけては欧州債務不安が和らいだことや円安の進行などにより上昇基調で推移しました。業種別(東証33業種)では、日本たばこ産業が増益となった「食料品」(前期末比+20.56%)が最も上昇した一方、任天堂が減収減益となった「その他製品」(同 25.58%)が最も下落しました。

#### 【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比+7.24%上昇の13,212.04ドル(前期末は12,319.73ドル)で終了しました。8月上旬には米国債の格下げや欧州債務問題の深刻化などを背景に大幅安となりました。その後10月に、好調な米経済指標の発表やEU首脳会議での債務問題に関する包括戦略合意などを受けて大幅に上昇しました。1月以降はギリシャ債務削減交渉の進展やFOMC(米連邦公開市場委員会)が景気判断を上方修正したことなどを背景に、上昇基調で推移しました。欧州株式市場は、下落しました。欧州債務問題をめぐる進退などを背景に、期中は概ね米国と同様の動きとなりました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比2.37%下落、仏CAC40は同 14.17%下落、独DAXは同 1.34%下落となりました。

#### 【日本債券市場】

日本債券市場は、金利上昇の後低下基調で推移しました。新発10年国債利回りは0.985%となりました(前期末は1.255%)。4月は、東日本大震災の復興・復旧に向けた政策が意識される中、財源として国債の増発が警戒されたことなどから、金利は1.3%台へ上昇しました。その後株価が弱含みに転じたことなどから、金利は低下基調で推移しました。7月は、株価の堅調な推移などから、金利は1.1%台後半に上昇しましたが、米国景気の減速懸念を受けて株式市場が軟調な推移となったことから低下基調が続きました。10月以降は欧州債務問題をめぐる進退などから揉み合いで推移しました。日銀は、政策金利である無担保コール翌日物金利の誘導目標を年0.0%から0～0.1%程度で推移するよう金融市場調整を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

#### 【外国債券市場】

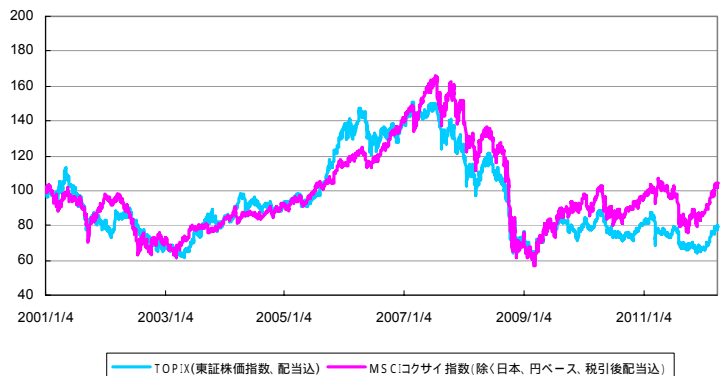
米国債券市場は、大幅に金利が低下しました。米10年国債利回りは2.209%となりました(前期末は3.470%)。8月には、FRB(米連邦準備制度理事會)が超低金利政策を継続する決定をしたことや、欧州債務問題の深刻化などから金利は低下しました。その後は欧州債務問題をめぐる進退などから揉み合いで推移しました。欧州債券市場は、大幅に金利が低下しました。独10年国債利回りは1.794%となりました(前期末は3.354%)。7月下旬以降、欧州債務問題の深刻化を受けて、独国債がリスク回避資金の受け皿となったことから金利は低下しました。その後は欧州債務問題をめぐる進退などから揉み合いで推移しました。FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.00%～0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は4月と7月に政策金利を0.25%ずつ引き上げ、年1.50%としましたが、11月と12月には0.25%ずつ引き下げ、年1.00%としました。

#### 【外国為替市場】

外国為替市場は、円高基調で推移した後、期後半にかけ円安基調で推移しました。米ドル/円相場は、前期末比96銭(+1.15%)円高ドル安の1ドル=82円19銭となりました。4月上旬に米国景気回復期待から一時円安にふれた後、10月頃までは、米国連邦債務の上限問題に係る協議の難航やFRBによる超低金利政策の長期化などから円高基調で推移しました。2月中旬以降は、米国株式市場が堅調だったことや日銀による追加金融緩和と政策の決定などを受け、円安基調で推移しました。ユーロ/円相場は、前期末比7円77銭(+6.61%)円高ユーロ安の1ユーロ=109円80銭となりました。ギリシャの財政懸念が強まったことなどからリスク回避の動きが強まり、円高基調で推移した後、10月の欧州各国による包括戦略の合意などから円安にふれた局面がありました。その後は欧州債務問題の深刻化などから再び円高基調で推移しましたが、2月のギリシャへの追加金融支援策合意などから欧州債務懸念が和らぎ、期末にかけて円安が進行しました。

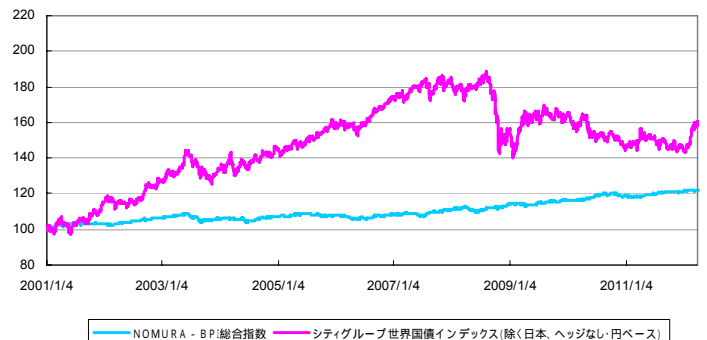
#### 日本と外国の株式市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

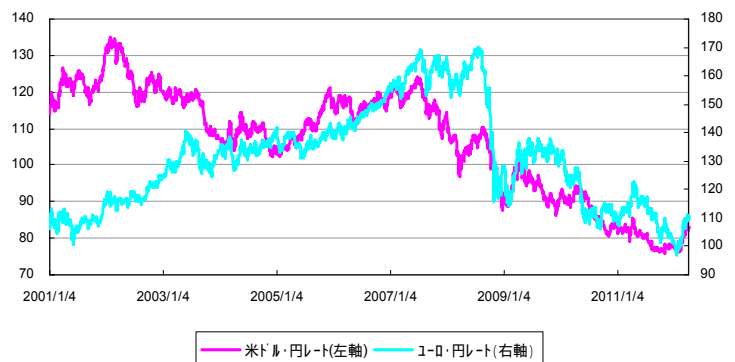


#### 日本と外国の債券市場の推移

\*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



#### 外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 年金払定期付積立型変額保険

## 特別勘定の現況

(2011年4月～2012年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

## 特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名	基本資産 配分比率	利 用 す る 投 資 信 託		
		投資信託名	運用方針	委託会社
ライフ プロデュース30	世界 株式 30%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・バランス (保守型)	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組み入れ比率は純資産の30%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス <sup>1)</sup> を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	アライアンス・ バーンスタイン 株式会社
	世界 債券 70%			
ライフ プロデュース50	世界 株式 50%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・バランス (中立型)	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組み入れ比率は純資産の50%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス <sup>1)</sup> を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
	世界 債券 50%			
ライフ プロデュース70	世界 株式 70%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・バランス (積極型)	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組み入れ比率は純資産の70%程度を基本とし、一定の規律に従いリバランス <sup>1)</sup> を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
	世界 債券 30%			
ライフ プロデュース日本株式	日本 株式 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ ジャパン・スタイル・ブレンド・ ファンド - 1	マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。バリューストック(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス <sup>1)</sup> を行います。	
ライフ プロデュース世界株式	世界 株式 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・グロース・ オポチュニティーズ - 3	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国(日本を含む)の株式を投資対象に成長の可能性が高いと判断される「セクター」の中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資し、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
ライフ プロデュース世界債券	世界 債券 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・ボンド・ ファンド - 1	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)を投資対象に分散投資と投資対象証券の相対的投資価値分析を基本として、信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	

特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「\*1～\*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

# 年金払定期付積立型変額保険

## 特別勘定の現況

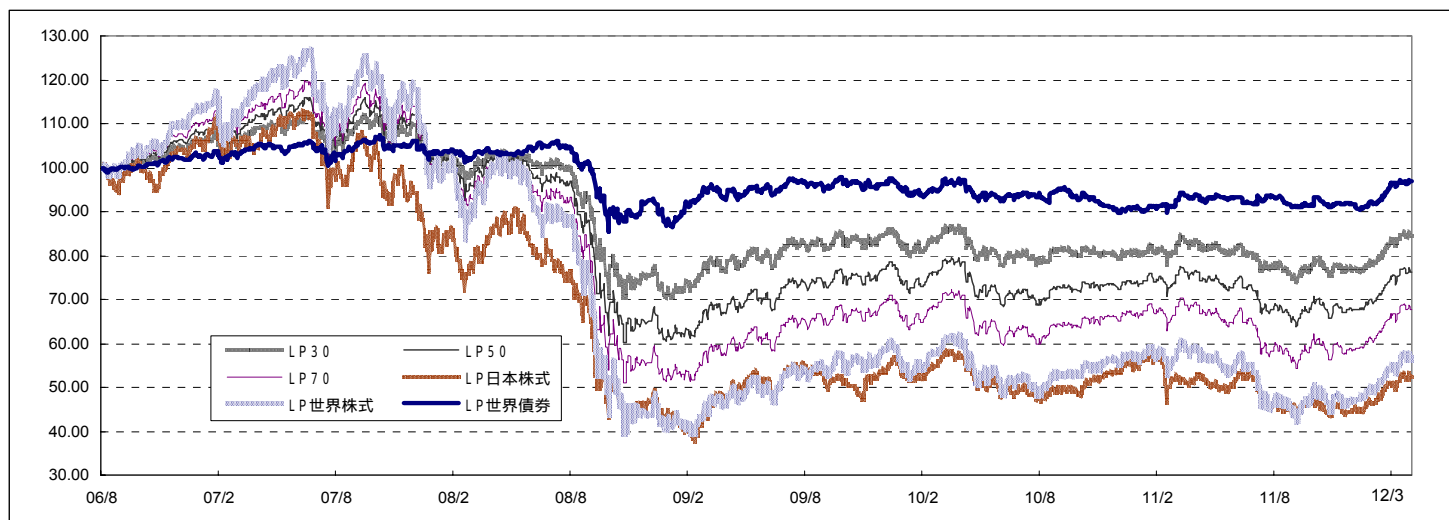
(2011年4月～2012年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

## 特別勘定の運用状況 [2012年3月 末日現在]

### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



### 特別勘定資産の内訳

特別勘定名	資産残高
	金額(千円)
ライフプロデュース30	645,567
ライフプロデュース50	4,116,743
ライフプロデュース70	2,063,715
ライフプロデュース日本株式	847,198
ライフプロデュース世界株式	2,548,114
ライフプロデュース世界債券	1,171,124

金額の単位未満は切捨てとしました。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>



# 年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2011年4月～2012年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 特別勘定 ライフプロデュース30 [2012年3月 末日現在]

### 特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2011年度のユニットプライス騰落率は+2.62%となりました。

当期の世界の債券市場は、2011年9月下旬にかけて価格は上昇(利回りは低下)し、その後は方向感の定まらない動きが続きました。世界の株式市場は下落基調で推移しましたが、2012年1月以降回復基調に転じました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、世界債券Mファンドにおける米国やユーロ圏の残存期間戦略などはプラス要因でしたが、世界株式Mファンドのエネルギー・セクターにおける銘柄選択などがマイナス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ライフプロデュース30			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2012年3月末	84.39	過去1ヵ月	1.04
2011年12月末	76.89	過去3ヵ月	9.76
2011年9月末	75.15	過去6ヵ月	12.30
2011年6月末	81.31	過去1年	2.62
2011年3月末	82.24	過去3年	10.79
2010年12月末	79.16	設定来	15.60

### 特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	198
有価証券売却益	-
有価証券評価益	25,334
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	5,112
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	2,220
収支差計	28,424

特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。

騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

### 特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース30	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	4,323	0.7
その他有価証券	641,243	99.3
合計	645,567	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。

金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

## (参考情報) 適格機関投資家私費 アライアンス・バースタイン・グローバル・バランス(保守型) [2012年3月 末日現在]

### 利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私費 アライアンス・バースタイン・グローバル・バランス(保守型)

【委託会社】 アライアンス・バースタイン株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組み入れ比率は純資産の30%程度を基本とし、一定の規律に従いバランス\*1を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主としてアライアンス・バースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券、アライアンス・バースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

### 当投資信託の資産配分比率

\* 比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

	基本資産配分	投資信託
世界株式Mファンド*	30.00%	30.49%
世界債券Mファンド**	70.00%	69.96%
短期金融資産等	0.00%	-0.45%
合計	100.00%	100.00%

### 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	1.13%	10.11%	12.92%	3.63%	14.67%	6.20%
BM	1.25%	9.29%	11.36%	2.99%	14.83%	0.60%
差	0.12%	0.82%	1.55%	0.64%	0.16%	6.80%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

\*「BM」とは、合成ベンチマークを指します。

合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

	投資信託
MSCIワールド・インデックス <sup>2</sup> (税引後配当金込/円ベース)	30.00%
シティグループ世界国債インデックス(円ベース) <sup>3</sup>	70.00%

\* 世界株式Mファンド: アライアンス・バースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券

\*\* 世界債券Mファンド: アライアンス・バースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「\*1～\*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2011年4月～2012年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 特別勘定 ライフプロデュース50 [2012年3月 末日現在]

### 特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2011年度のユニットプライス騰落率は+0.99%となりました。  
当期の世界の債券市場は、2011年9月下旬にかけて価格は上昇(利回りは低下)し、その後は方向感の定まらない動きが続きました。世界の株式市場は下落基調で推移しましたが、2012年1月以降回復基調に転じました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、世界債券Mファンドにおける米国やユーロ圏の残存期間戦略などはプラス要因でしたが、世界株式Mファンドのエネルギー・セクターにおける銘柄選択などがマイナス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。  
今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ライフプロデュース50			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2012年3月末	76.28	過去1ヵ月	1.47
2011年12月末	67.71	過去3ヵ月	12.67
2011年9月末	65.49	過去6ヵ月	16.48
2011年6月末	73.76	過去1年	0.99
2011年3月末	75.53	過去3年	16.48
2010年12月末	72.36	設定来	23.71

### 特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	734
有価証券売却益	-
有価証券評価益	108,494
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	65,242
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	22,436
収支差計	152,035

特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。  
騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。  
特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

### 特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース50	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	19,657	0.5
その他有価証券	4,097,086	99.5
合計	4,116,743	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。  
なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。  
金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

## (参考情報) 適格機関投資家私費 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・バランス(中立型) [2012年3月 末日現在]

### 利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私費 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・バランス(中立型)  
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社

### 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組み入れ比率は純資産の50%程度を基本とし、一定の規律に従いバランス\*1を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主としてアライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券、アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

### 当投資信託の資産配分比率

比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

	基本資産配分	投資信託
世界株式Mファンド*	50.00%	50.45%
世界債券Mファンド**	50.00%	50.01%
短期金融資産等	0.00%	-0.45%
合計	100.00%	100.00%

\* 世界株式Mファンド: アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券

\*\* 世界債券Mファンド: アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券

### 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	1.57%	13.05%	17.05%	1.89%	20.57%	15.47%
BM	1.57%	11.69%	15.25%	2.01%	23.98%	3.90%
差	0.00%	1.36%	1.80%	0.12%	3.41%	11.57%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

\*「BM」とは、合成ベンチマークを指します。

合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

	投資信託
MSCIワールド・インデックス <sup>2</sup> (税引後配当金込/円ベース)	50.00%
シティグループ世界国債インデックス (円ベース) <sup>3</sup>	50.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「\*1～\*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2011年4月～2012年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 特別勘定 ライフプロデュース70 [2012年3月 末日現在]

### 特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2011年度のユニットプライス騰落率は 0.75%となりました。  
当期の世界の債券市場は、2011年9月下旬にかけて価格は上昇(利回りは低下)し、その後は方向感の定まらない動きが続きました。世界の株式市場は下落基調で推移しましたが、2012年1月以降回復基調に転じました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、世界債券Mファンドにおける米国やユーロ圏の残存期間戦略などはプラス要因でしたが、世界株式Mファンドのエネルギー・セクターにおける銘柄選択などがマイナス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。  
今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ライフプロデュース70			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2012年3月末	67.83	過去1ヵ月	1.91
2011年12月末	58.66	過去3ヵ月	15.64
2011年9月末	56.21	過去6ヵ月	20.67
2011年6月末	65.91	過去1年	0.75
2011年3月末	68.34	過去3年	21.73
2010年12月末	65.20	設定来	32.17

### 特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	42
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益 為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	66,811
有価証券償還損 為替差損	-
その他費用及び損失	17,177
収支差計	49,676

特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。  
騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。  
特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

### 特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース70	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	12,644	0.6
その他有価証券	2,051,071	99.4
合計	2,063,715	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。  
なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。  
金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

## (参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・バランス(積極型) [2012年3月 末日現在]

### 利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・バランス(積極型)  
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社

### 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式および投資適格債(BBB格以上)に分散投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。株式の実質組み入れ比率は純資産の70%程度を基本とし、一定の規律に従いバランス\*1を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主としてアライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券、アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

### 当投資信託の資産配分比率

比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

	基本資産配分	投資信託
世界株式Mファンド*	70.00%	70.54%
世界債券Mファンド**	30.00%	29.94%
短期金融資産等	0.00%	-0.48%
合計	100.00%	100.00%

\* 世界株式Mファンド: アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券

\*\* 世界債券Mファンド: アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券

### 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	2.01%	16.05%	21.26%	0.11%	25.96%	24.89%
BM	1.88%	14.13%	19.18%	0.86%	33.20%	9.44%
差	0.13%	1.92%	2.08%	0.76%	7.24%	15.45%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

\*「BM」とは、合成ベンチマークを指します。

合成ベンチマークの組合せの比率は以下のとおりです。

	投資信託
MSCIワールド・インデックス <sup>2</sup> (税引後配当金込/円ベース)	70.00%
シティグループ世界国債インデックス (円ベース) <sup>3</sup>	30.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている\*1～\*4の用語説明は、11ページに記載しています。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>



# 年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2011年4月～2012年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 特別勘定 ライフプロデュース日本株式 [2012年3月 末日現在]

### 特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2011年度のユニットプライス騰落率は 0.42%となりました。(以下、バリュー株ファンドは委託会社独自のセクター別、グロース株ファンドはGICSセクター別で記載。)  
当期の日本株式市場は軟調に推移しましたが、2012年1月以降回復基調に転じました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、バリュー株ファンドでは、テクノロジーにおける銘柄選択や素材のオーバーウェイトなどがマイナス要因となりました。グロース株ファンドでは、一般消費財・サービスにおける銘柄選択などはプラスに寄与したものの、資本財・サービスのオーバーウェイトなどがマイナス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。  
今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	ユニットプライス	騰落率 (%)
2012年3月末	52.38	過去1ヵ月 3.06
2011年12月末	44.68	過去3ヵ月 17.23
2011年9月末	46.04	過去6ヵ月 13.77
2011年6月末	51.45	過去1年 0.42
2011年3月末	52.60	過去3年 22.64
2010年12月末	53.23	設定来 47.62

### 特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	0
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	30,015
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	10,986
収支差計	19,029

特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。  
騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。  
特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

### 特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース日本株式	
	金額(千円)	比率 (%)
現預金・その他	2,582	0.3
その他有価証券	844,615	99.7
合計	847,198	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。  
なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。  
金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

## (参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド - 1 [2012年3月 末日現在]

### 利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド - 1  
【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社

### 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。  
バリュー株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス<sup>1)</sup>を行います。

当投資信託は、主として  
パースタイン・日本ストラテジック・バリュー株・マザーファンド受益証券、  
アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券 に投資します。

### 当投資信託の詳細情報 資産配分比率

	基本資産配分	投資信託
バリュー株ファンド*	50.00%	50.25%
グロース株ファンド**	50.00%	49.79%
短期金融資産等	0.00%	-0.04%
合計	100.00%	100.00%

\* バリュー株ファンド: パースタイン・日本ストラテジック・バリュー株・マザーファンド受益証券

\*\* グロース株ファンド: アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券

### 当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	3.15%	17.56%	14.34%	0.64%	27.17%	44.58%
BM	3.28%	18.55%	13.61%	0.59%	17.29%	40.19%
差	0.13%	0.98%	0.73%	0.04%	9.87%	4.39%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、

TOPIX(東証株価指数 配当込)<sup>4)</sup>です。

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

### 組入上位10銘柄

順位	銘柄	業種	投資信託
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.43%
2	日産自動車	輸送用機器	4.26%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.72%
4	三菱商事	卸売業	3.16%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.04%
6	日本電信電話	情報・通信業	2.83%
7	日本たばこ産業	食料品	2.32%
8	東芝	電気機器	2.31%
9	三井物産	卸売業	2.13%
10	東日本旅客鉄道	陸運業	2.11%
合計			30.31%
組入銘柄数			84銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「\*1～\*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>



# 年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2011年4月～2012年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

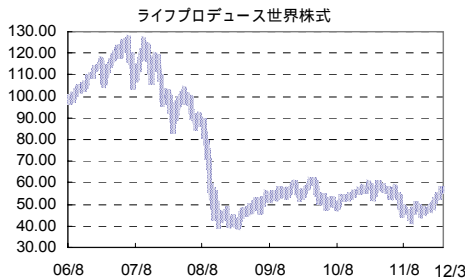
## 特別勘定 ライフプロデュース世界株式 [2012年3月 末日現在]

### 特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2011年度のユニットプライス騰落率は 3.48%となりました。(以下、委託会社独自のセクター別で記載。)  
当期の世界の株式市場は、欧州の債務危機による世界経済の減速懸念などを背景とした先行き不透明感から下落基調で推移しましたが、2012年1月以降は、欧州中央銀行(ECB)による欧州各国への流動性供給や米国経済指標の改善などを受けて回復基調に転じました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、情報技術セクターのオーバーウェイトなどがプラス要因となったものの、エネルギー・セクターやヘルスケア・セクターにおける銘柄選択などがマイナス要因となりました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ユニットプライス	騰落率 (%)
2012年3月末	過去1ヵ月 2.56
2011年12月末	過去3ヵ月 20.11
2011年9月末	過去6ヵ月 27.29
2011年6月末	過去1年 3.48
2011年3月末	過去3年 29.16
2010年12月末	設定来 43.63

### 特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	3
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	43,164
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	28,980
収支差計	14,187

特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。  
騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。  
特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

### 特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース世界株式	
	金額(千円)	比率 (%)
現預金・その他	10,236	0.4
その他有価証券	2,537,878	99.6
合計	2,548,114	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。  
なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。  
金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

## (参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ - 3 [2012年3月 末日現在]

### 利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ - 3  
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社  
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国(日本を含む)の株式を投資対象に成長の可能性が高いと判断される「産業セクター」の中から、成長性が高いと思われる銘柄に投資し、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主としてアライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券に投資します。

### 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	2.67%	20.60%	27.83%	2.78%	34.00%	3.17%
BM	2.34%	17.86%	25.15%	1.18%	47.00%	24.36%
差	0.33%	2.74%	2.67%	1.60%	13.00%	27.53%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2003年9月30日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIワールド・インデックス<sup>2</sup>(税引後配当金込/円ベース)です。

### マザーファンド受益証券の詳細情報 組入上位10銘柄

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

銘柄	国名	セクター	業態	マザーファンド
1 アップル	アメリカ	情報技術	パソコン	3.81%
2 プリティッシュ・アメリカン・タバコ	イギリス	生活必需品	たばこ	2.76%
3 ネスレ	スイス	生活必需品	食品・飲料	1.98%
4 クアルコム	アメリカ	情報技術	通信システム	1.93%
5 JPMorgan・チェース	アメリカ	金融	総合金融	1.92%
6 アンハイザー・ブッシュ・インペブ	ベルギー	生活必需品	ビール	1.88%
7 ダナハー	アメリカ	資本財・サービス	工具・通信部品	1.77%
8 グーグル	アメリカ	情報技術	インターネット	1.76%
9 IBM	アメリカ	情報技術	コンピューター	1.67%
10 オラクル	アメリカ	情報技術	ソフトウェア	1.55%
合計				21.02%
組入銘柄数				115銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「\*1～\*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 年金払定期付積立型変額保険 特別勘定の現況

(2011年4月～2012年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

## 特別勘定 ライフプロデュース世界債券 [2012年3月 末日現在]

### 特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2011年度のユニットプライス騰落率は+4.61%となりました。  
当期の世界の債券市場は、2011年9月下旬にかけては、ユーロ圏債務危機の再燃や世界経済の減速に対する懸念などを背景に投資家のリスク回避傾向が強まったことから、価格は上昇(利回りは低下)しました。その後は、方向感の定まらない動きが続きました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、米国やユーロ圏の残存期間戦略のほか、英国をオーバーウェイトとした国別配分が主なプラス要因となりました。また、ユーロ圏周辺国の国債をアンダーウェイトとした銘柄選択や豪ドルをオーバーウェイトとした通貨配分もプラス要因となりました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

### 特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



ユニットプライス		騰落率(%)	
2012年3月末	96.75	過去1ヵ月	0.37
2011年12月末	91.68	過去3ヵ月	5.53
2011年9月末	91.21	過去6ヵ月	6.07
2011年6月末	93.17	過去1年	4.61
2011年3月末	92.49	過去3年	2.74
2010年12月末	89.62	設定来	3.24

### 特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	214
有価証券売却益	-
有価証券評価益	42,298
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	19,983
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	1,630
収支差計	60,865

特別勘定のユニットプライスは、2006年8月30日のプライスを100.00として計算しています。  
騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。  
特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

### 特別勘定資産の内訳

項目	ライフプロデュース世界債券	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	6,834	0.6
その他有価証券	1,164,290	99.4
合計	1,171,124	100.0

特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。  
なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。  
金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

## (参考情報) 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド - 1 [2012年3月 末日現在]

### 利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド - 1  
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社  
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)を投資対象に相対的投資価値分析を基本として、信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。

外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当投資信託は、主としてアライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

### 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.46%	5.82%	6.65%	5.70%	6.07%	7.71%
BM	0.76%	5.75%	5.63%	4.12%	1.44%	5.00%
差	0.30%	0.06%	1.03%	1.58%	4.63%	2.71%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年6月5日)を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(円ベース)<sup>1)</sup>です。

### マザーファンド受益証券の詳細情報 組入上位10銘柄

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
				ムーディーズ	S&P	
1 イギリス国債	イギリス	3.750%	2020年9月7日	Aaa	AAA	5.46%
2 ドイツ国債	ドイツ	3.250%	2020年1月4日	Aaa	AAA	3.45%
3 日本国債	日本	1.500%	2015年9月20日	Aa3	AA-	2.88%
4 日本国債	日本	1.500%	2019年3月20日	Aa3	AA-	2.77%
5 日本国債	日本	1.300%	2014年3月20日	Aa3	AA-	2.52%
6 イギリス国債	イギリス	3.750%	2019年9月7日	Aaa	AAA	2.44%
7 ドイツ国債	ドイツ	6.000%	2016年6月20日	Aaa	AAA	2.37%
8 カナダ国債	カナダ	4.000%	2016年6月1日	Aaa	AAA	2.35%
9 オランダ国債	オランダ	4.000%	2018年7月15日	Aaa	AAA	2.33%
10 日本国債	日本	2.100%	2029年3月20日	Aa3	AA-	1.86%
合計						28.44%
組入銘柄数						149銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「\*1～\*4」の用語説明は、11ページに記載しています。

### [引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 年金払定期付積立型変額保険

## 用語説明

- \*1 「リバランス」とは、当初決定した資産配分比率に調整することをいいます。
- \*2 「MSCIワールド・インデックス」とは、MSCI Inc.が世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。  
MSCIワールド・インデックスに関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。  
MSCIワールド・インデックス(税引後配当金込/円ベース)は、MSCIワールド・インデックス(米ドルベース)をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円ベースに換算したものです。
- \*3 「シティグループ世界国債インデックス(円ベース)」とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが算出・公表する指数で、1984年12月末日を100として世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。  
シティグループ世界国債インデックス(円ベース)に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。
- \*4 「TOPIX(東証株価指数 配当込)」とは、東京証券取引所第一部に上場されている普通株式全銘柄の浮動株調整後の時価総額を指数化し、配当収益を考慮したインデックスであり、市場全体の動向を反映するものです。TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(以下「東京証券取引所」)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

# 年金払定期付積立型変額保険のリスク及び諸費用について

## 【投資リスクについて】

この保険は積立金額、払いもどし金額および満期保険金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額保険です。特別勘定資産の運用は、主として国内外の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託を利用して運用され、株式および公社債の価格変動と為替変動などに伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額や満期保険金額などが払込保険料総額を下回る場合があります。特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

## 【諸費用について】

お客様にご負担いただく費用は、危険保険料、各保険契約管理費、および運用関係費の合計額となります。

## <第1回の年金の支払事由発生前にかかる費用>

項目	費用	備考
危険保険料	毎月の初日から末日までの日々の危険保険金額を平均した額に、危険保険料率を乗じた金額	月単位の契約応当日の前日末に積立金から控除します。
保険契約管理費 (保険料比例部分)	保険料(任意一時払保険料を除く)に対し、 <b>3.00%</b>	各保険料を特別勘定に繰り入れる際、当該保険料から控除して積立金に充当します。
保険契約管理費 (定額部分)	毎月 <b>250円(固定費)</b>	月単位の契約応当日の前日末に積立金から控除します。
保険契約管理費 (危険保険金額比例部分)	毎月の初日から末日までの日々の危険保険金額を平均した額に対し、 <b>0.01%/月</b>	月単位の契約応当日の前日末に積立金から控除します。
保険契約管理費 (積立金額比例部分)	積立金額に対し、 <b>年率1.00%</b> (1.00%/365日を乗じた金額)	毎日、積立金から控除します。

危険保険料は、危険保険金額が積立金額の変動によって変動すること、また、危険保険料率が被保険者の年齢や性別によって異なることから具体的な数値を記載することができません。危険保険料率について詳しくは、「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

毎月の初日から末日までの日々の危険保険金額を平均した額が1,000万円を超える場合、高額割引が適用され、その月の保険契約管理費(危険保険金額比例部分)がお安くなります。ただし、基本年金年額の減額や積立金額の増加などにより、危険保険金額が1,000万円以下となる場合には、高額割引は適用されなくなります。

## 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

# 年金払定期付積立型変額保険のリスク及び諸費用について

## < 積立金の移転や解約などにかかる費用 >

項目	時期	費用	備考
積立金移転費用	積立金の移転時	[書面による移転申込みの場合] 月1回目1,500円、 2回目以降は1回につき2,300円 <sup>(*)</sup>	毎回に移転について積立金から控除します。
		[インターネットによる移転申込みの場合] 月1回の積立金の移転は無料、 2回目からは1回につき800円 <sup>(*)</sup>	1ヵ月に2回以上積立金の移転を行なう場合、 2回目からの移転について積立金から控除します。
解約控除	解約時	積立金に対する解約控除額(積立金に解約控除率10%~1%を乗じた金額)と危険保険金に対する解約控除額(危険保険金に解約控除率0.50%~0.05%を乗じた金額)の合計額	解約日が契約日より起算して10年未満の場合には、 経過年数に応じて計算した金額を、 解約日の翌営業日の積立金額から控除します。
解約控除	積立金の一部引出時	積立金に対する解約控除額(積立金に解約控除率10%~1%を乗じた金額)	一部引出日が契約日より起算して10年未満の場合には、 経過年数に応じて計算した金額を、 一部引出請求金額から控除します。

(\*) 月単位の契約応当日から翌月の契約応当日の前日までに積立金移転を行った回数

経過年数については1年未満は切り上げとなります。

無償引出限度額(解約日または一部引出日の前日の積立金額の10%相当額)と同額の積立金額までは上記の積立金に対する解約控除額の計算対象となりません。

ただし、すでに積立金の一部引出が行なわれている場合はその合計額を無償引出限度額から差し引きます。

解約時の払戻し金の支払いに際しては、解約日の属する月に控除すべき危険保険料および保険契約関係費を払いもどし金額から差し引いてお支払いします。

基本年金年額の減額、契約の型の変更、保険期間の短縮の際にも、危険保険金額の減額により、危険保険金額に対する解約控除が適用される場合があります。

将来、上記の内容が変更になることがあります。

## 運用関係の費用

項目	時期	費用	備考
運用関係費	毎日	ライフプロデュース30 年率0.7770%程度 (税抜年率0.74%程度)	投資信託の純資産額に対して、 毎日積立金から控除します。
		ライフプロデュース50 年率0.8295%程度 (税抜年率0.79%程度)	
		ライフプロデュース70 年率0.8820%程度 (税抜年率0.84%程度)	
		ライフプロデュース日本株式 年率0.8610%程度 (税抜年率0.82%程度)	
		ライフプロデュース世界株式 年率0.8925%程度 (税抜年率0.85%程度)	
		ライフプロデュース世界債券 年率0.5460%程度 (税抜年率0.52%程度)	

運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。

信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料及び消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、

これらの諸費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。

また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。

これらの運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

## < 第1回の年金の支払事由発生以後にかかる費用 >

項目	時期	費用	備考
年金管理費	年単位の契約応当日	支払年金額の1%	年金支払開始日以後、 年単位の契約応当日に責任準備金から控除されます。

年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>